

## 第5回議会報告会（北公民館）結果報告

日 時 平成28年11月20日（日）

午後2時から3時40分まで

参加者数 42人

内 容 1. 開会あいさつ（司会者：相原議員）

2. 議長あいさつ

3. 北公民館担当の議員紹介

4. 議会の仕組みについて（八尋議員）

5. 議会報告会の意義（八尋議員）

6. 報告

(1) 平成27年度決算の審査概要について（八尋議員）

①決算の概要説明（「議会だより第222号」利用）

②質疑

(2) 地域別テーマ

①新東名高速道路の進捗状況とサービスエリア周辺整備並びに国道

246号バイパス整備について（八尋議員、諸星議員）

②質疑

7. 意見交換

### 質疑の内容

質問1 Q：サービスエリア、スマートインターチェンジについて

（仮称）秦野 IC から国道246号線までの区間の工事期間が2021年7月までとなっているので2020年度には完成しないのか。

A：国道交通省からは、新東名高速道路開通の2020年度（平成32年度）中には完成するだろうと聞いている。

質問2 Q：246号バイパスの事業認定区間について

A：平成26年度に伊勢原西 IC から秦野中井 IC までの間が、国により事業化され、現在、土地の買収が進められ地質調査等も進められている。

一方、秦野中井 IC から新東名高速道路（仮称）秦野 IC までの間は、まだ事業化がされていない。

国道246号バイパス建設推進議員連盟の副会長として、先日、国土交通大臣に会い、早期事業化の陳情を行ってきたところである。今後、（仮称）秦野 IC までの間は、地形の調査などが行われると聞いている。

質問3 Q：水とみどりの決議を守るために議会のチェックはどのようなか

A：議会として直接的に新東名高速道路に関する地下水の水質チェックなどは行っていない。但し、地下水は本市の水道水の約8割を占めており、環境基準を外れると議会にも報告がされることになっている。

現状、そのような報告がなされていないことから、議会としても新東名高速道路などによる地下水への問題が発生していないと判断している。

これからも注視していく。

質問4 Q：水とみどりをどのように守っていくのか

A：議会としては、水とみどりを直接守るということではない。

今年3月、環境省の名水百選総選挙にて「おいしさが素晴らしい部門」において1位を獲得した。私たち議会としても、全国に秦野の名声を高めるチャンスと捉えるとともにシティープロモーションの観点からも、この決議を行った。

また、本市では高齢化が進み、今後も財政状況が厳しくなることが予想されている。

議会としては、持続可能な街とするため税収を支える生産年齢(納税者)である若者にも本市に興味を持ってもらい住んでもらえるようにすることも、この決議に込められている。

もちろん、秦野の宝である地下水は守っていかなければならない。

その他質問：採決の結果の認定、可決、同意の違いについて

政務活動費の内容について

新東名高速道路の進捗状況とサービスエリア周辺整備について

国道246号バイパス整備について

育て社会に向かって、市民力が必要な時の公共施設の値上げについて

議会はどのような審議をするのか

国と地方自治体との力関係についての対応は

横野、戸川諏訪丸地区の土地利用構想のふれあい交流ゾーンはどのような内容か

要望

行政の事業の実現に、もっと市民の意見を聞いて活かしてほしい

東名はだの中井のバス停駐車場の、利用状況の案内をしてほしい

工事車両の速度は法定速度にしてほしい

工事車両の通行する道路のマップを作成してほしい

サービスエリアで販売する地元の特産品の選定に工夫をしてほしい